

1. MacHTTP のソースファイルをダウンロードする。

MacHTTP.org に書かれているようにダウンロードする

私のところでは、MacCVS-Pro がサーバーに接続できないので、MacCVS X、OSX のターミナルからチェックアウトしました。MacCVS Clients でもだめでした。改行コードが、LF になる点、後でファイルタイプをつける必要がありますが、OSX のターミナルの方が文字化けがなくいいかと思います。

2. ファイルタイプの確認と修正

CVS で、拡張子のファイルタイプの設定がちゃんと行われてないと、チェックアウトしたファイルが、MPW で認識されずコンパイルできません。もちろん、テキストファイルの改行コードも CR になっていないとそれも変更しなければなりません。

ファイルタイプをチェック方法は、MPW でディレクトリーを移動して、WorkSheet に”Files -l”+Enter ですべてのファイル属性が分かります。

変更すべきファイル

- *.c
- *.h
- *.set
- *.make

上記ファイルのファイルタイプを”TEXT”にします。

3. ソースファイルを修正する。

MacCVS X で Check out すると一部文字化けが起きました。strcat の引数の一部に文字化け OSX のコマンドラインからの Check out では文字化けしませんでした。

3.1 Include Header に古いスタイルの宣言があるので訂正します。

```
#include <cctype> -> #include <ctype.h>
#include <cstdio> -> #include <stdio.h>
#include <cstdlib> -> #include <stdlib.h>
#include <cstring> -> #include <string.h>
#include <ctime> -> #include <time.h>
```

多くのファイルで使用されているので、ツールか何かで一括で変換した方がよいかと思います。また、#include <Gestalt.h>が Error_Messages.c"に無いので、追加します。

それから、”source”フォルダーと同じフォルダーに”objects”というフォルダーがないとコンパイルする際の間ファイルが作れずに Error になります。

4. コンパイルの不具合

resource の Template.rsrc、PW_UI.rsrc において、ckid が 2 重定義されているためエラーになるが無事コンパイルできます。

5.便利な設定

WorkSheet に”MacHTTP.set”+Enter で、MacHTTP 用の開発メニューになります。ただし、ディレクトリーのメニューがなくなりますので、MacHTTP のディレクトリーに移動してからの方がいいです。